

群馬県議会 リベラル群馬

街頭演説900日
県政の革命児!

県議会だより

後藤かつみ

vol.19

発行 リベラル群馬 後藤かつみ事務所
住所 高崎市八幡町800-24
TEL&FAX 027-343-1393
e-mail ccrgoto@af.wakwak.com
<http://www.ccrgoto.com/>



知事に予算提言書を提出

震災、雇用、エネルギー対策へ提言

予算編成を議会が

リードしていく時代に

リベラル群馬、H24年度予算に向けた提言書を知事に提出

今回提出した提言書では震災、雇用、エネルギーという緊急課題の17要望に絞りました。これまでの会派の予算要望というと、総花的に100を超えて多数の要望を出すのが通例でした。しかし、財政難により事業の選択が厳しく問われる時代には「何でも要望する」という姿勢は無責任であると考えます。後藤は、リベラル群

馬の政策責任者として、総花的な要望のあり方ではなく、会派として責任を持って実現させていく要望項目に絞り、知事に対して提言する方法に改めました。これにより、単に「要望するだけ」の議会から、財政難の中で「取捨選択すべき事業は何か」の議論をリードする責任ある議会への脱皮を目指していきます。

リベラル群馬 予算提言の主な概要

1 雇用

内定率の厳しい地元大学と地元中小企業とのマッチングに重点を置いた地元重視の就職支援策と、それをコーディネートする「若者就職支援センター(ジョブカフェぐんま)」の体制強化を要望。

2 大規模災害 放射能対策

子どもへの健康被害対策が第一。子どもの健康調査を県独自で実施するよう要望。大規模災害時に、組織の「縦割り」を超えて強力かつ迅速な指揮を執れる危機管理部を改めて設置するよう提言。

3 新エネルギー

本県が優位性を持つ新エネルギーである「太陽光・水力・バイオマス」について、「攻め」の目標を設定し、実効ある普及策を進めると同時に、地元企業のビジネスチャンス拡大に繋がる産業創出策を打ち出すことを要望。

現場主義の視点からの提言

後藤自身もさることながら、リベラル群馬としても、特に震災以降、甚大な被害を受けた福島県相馬市の取り組みや、復興支援にあたる群馬県職員の状況を調査。また、桐生市の新エネルギーの地産地消の取り組みなど、最前線の現場をくまなく視察してきました。

相馬市長が強力な陣頭指揮により、住民の声を迅速に伝える状況を確認し、有事におけるリーダーシップの重要性を痛感

したことは大規模災害対策の提言に活かされています。また、桐生市の取り組みは、新エネルギーを単に普及するだけでなく、同時に地域の活性化やビジネスチャンスの創出に繋がっていくことの重要性を痛感したことが新エネルギーの提言に活かされています。

リベラル群馬らしく、政党やマスコミ情報を受け売りではなく、実際に「現場」を歩いた視点での政策提言に努めてきたところです。



県内4大学による学生と県内企業とのマッチングの取り組み現場を視察



電力の地産地消に取り組む桐生市の「チャレンジ25地域づくり事業」の現状を視察



福島の復興支援に従事する群馬県職員の状況を視察